

～目指す学校～ 生徒が通いたい学校 保護者が通わせたい学校 地域が応援したい学校

一目指す生徒像—どんな状況でもたくましく生き抜く生徒

一指導方針—
全ては生徒の幸せの為に

将来に向けよりよく社会生活を送るための知識を育む

【1】＜困難な社会を生き抜く生徒の育成＞

**シン凡事徹底「当り前のことが当り前にできる」
「一歩先を見通した行動ができる」**

生徒の育成（社会の状況に応じた凡事）
（学校生活・社会生活の凡事を明確に示し、生徒が身につけられるように、全教職員で指導の徹底を図る）

3つの間を大切に「時間・空間・仲間」

（授業時間、休み時間、様々な活動の時間・友と共に学び、考え、話し合う空間・共に悩み、支え合う仲間）

心を育てる「周りの人を大切にできる心」

（支えてくれる周りの人に感謝の気持ちを表し、伝えることができる心と態度）

生活規律の徹底「共通理解・共通実践」

（社会で必要な生活規律の徹底指導（3年間で身につけさせる）
（あいさつ・礼儀・マナー） 家庭・地域と共に

◎学級集団力の向上 **学校生活の基本は学級から**

○生徒の居場所づくり（生徒が安心して自分を伸ばせる場所、クラス全員で目標に向かい取り組める風土）**hyper-QU 活用**

○支えあい・学びあい・高めあえる学級集団づくり
・話し合い・学びあい活動の実践（グループ学習）

○「不登校対策」 ○特別支援教育の充実（特別支援コーディネーター・不登校支援コーディネーター・特別支援教室専門員・SC・SSW との連携）

・エンカレッジルーム、**サポート学習室**の有効活用
・「**学校生活アンケート**」2か月に1回実施

＜三者・二者面談の定期的実施。1年生全員のSC個別面接＞
教職員で共通理解・個に応じた適切な指導

《 組織的な学校運営 》

☆主幹・主任（学年・分掌）を中心とした組織

☆信頼される学校づくり

- ・教職員の輪（和）
- ・地域との輪（和）
- ・家庭との輪（和）

＜生徒への基本姿勢＞
伸ばす
関わる・褒める・鍛える

～生徒の教育を担うのは教員である～

★教職員の資質向上

《意図的・計画的に人材育成を図る》

【2】心の教育の充実

◎持続可能な社会を創造する力の育成

（コミュニケーション力・表現力・挑戦力）
・講師を招いた講演や講習会を実施
・PPTを活用した発表 ・SSTを活用した授業

・人権教育・道徳授業の充実・情報モラル教育の徹底
・ボランティア活動の充実（地域の方々との関わり）

○清掃・管理がいそどいた、きれいな学校
○充実した給食・食育の推進

《学力・体力の向上と、自ら進んで学ぶ生徒の育成》

◎授業改善（主体的・対話的な学習過程の実践）
・めあて、目標の提示、振り返りの充実（発問の工夫・授業展開）
・教えて・考えさせる授業の実践（O・K・J）
・持続可能な社会の創り手を育む教育の実践
（ESD カレンダー作成と実践）

・ICTの有効な活用

※授業が変われば生徒が変わる

◎学力の向上（都立高校に全員合格できる学力の育成）

・新学習指導要領への対応した授業と評価・評定
・「全国・区学力調査」の有効活用
・読書科の推進
（学校図書館の充実・各階にミニ図書館の設置）
・放課後補習学習、家庭学習の充実
・生徒による授業評価の実施（1・2学期末）

◎体力の向上（体を動かす喜びを体験させる）

・スポーツテストの全国平均以上を目指す。
※保健体育授業・運動部活動により体力の向上を目指す。

◎学校行事の充実（生徒が主体的に参加する形態に）

・体育祭、合唱コンクール、宿泊行事等の活動で、達成感・帰属意識を体得させ、感動ある行事により「心」を育てる。
・生徒会活動など生徒の自主的な活動の充実
（スローガンを掲げ、目標をもって取り組ませる。）

○地域に開かれた学校行事の充実

（地域行事への積極的参加）

○部活動の充実（全教員顧問・複数顧問制）

・部活動指導員・部活動外部指導員の積極的な導入

◎教職員の働き方改革（教職員同士の助け合い）

・スクールサポートスタッフ・エンカレッジサポーター
SC・SSW・関係機関との連携

1 教育目標

- ・素直で明るい、心豊かな生徒を育てる（素直で豊かな心）
- ・自ら進んで、よく学びよく働く生徒を育てる（学びと勤労）
- ・責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒を育てる（責任と規律）

2 目指す学校像

- ・生徒が通いたい 保護者が通わせたい 地域が応援したい学校

3 目指す生徒像

- ・当たり前のことを当たり前ででき、先を見通した行動ができる生徒（シン・凡事徹底）
- ・3つの間を大切にできる生徒（時間・空間・仲間）
- ・周りの人を大切にする心を持ち、感謝の気持ちを伝えられる生徒（人間関係の構築）
- ・社会に出てからも、いろいろな人から自然に可愛がってもらえる生徒（挨拶や礼儀）

4 求める教職員像

- ・厳しい中に温かな指導を行い、人として社会人として信頼され生徒と共に歩む教職員
（「全ては生徒の幸せのために」・「教育は人なり」）
 - ① 生徒と信頼関係を築き、きめ細やかな指導をする
 - ② 保護者・地域の皆さんと協力して、生徒を育てる

5 本年度の具体的な取組

（1）人権尊重

- ・人権尊重はあらゆる場面で配慮される。学校生活のあらゆる場面で人権尊重を心がける。
 - ① 偏見や差別のない環境づくり
 - ② 教育の場にふさわしい『言語環境』

（2）学習指導

- ① 授業規律を徹底し、基礎基本の定着を図る。授業・家庭学習・補充学習の充実
- ② 授業の工夫・改善（「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善）
教えて・考えさせる授業の実践（OKJ）
話し合い・学び合い・教え合いの協働的な学習の推進（グループ学習）
授業のまとめを最後の5分間で行い、本時の振り返りをする（本時の復習の確認）
- ③ 「目標」と「指導と評価」の一体化（評価を学習指導の改善に生かす）
- ④ ICT機器を活用した、学習活動の工夫

（3）生活指導

- ① 的確な生徒理解（生徒観察と教育相談、2か月に1回生活アンケート、QUなど）

- ② 生活指導の充実・問題行動への一貫性のある指導（教員個々の対応→組織的対応）
- ③ 情報の共有化と迅速な対応
- ④ いじめの早期発見・早期解決
- ⑤ 保護者、地域、関係機関と連携した支援
- ⑥ 不登校の初期対応の徹底と自立支援の充実（対策委員会とサポート学習室の効果的運用）
- ⑦ 予防的・開発的な指導の開発（ソーシャルスキル、エンカウンター、QU等の活用）

（４）進路指導

- ① キャリア教育の視点に立った、望ましい勤労観・職業観の育成
- ② 地域の支援を活用したチャレンジ・ザ・ドリーム等の体験学習の充実
- ③ 主体的な進路選択に向けた能力の伸長

（５）特別支援教育

- ① 生徒の教育的ニーズの把握
- ② 保護者との信頼関係の構築
- ③ 関係機関との積極的な連携
- ④ 発達障害等への理解の深化と指導法の工夫

（６）特別活動・その他

- ① 持続可能な社会を創造するための力を育成
(コミュニケーション力・表現力・挑戦力)
- ② 学級活動や生徒会活動を通じた、自主的、実践的態度の育成
- ③ 行事や集会活動を通じた、より深い人と人との関わり方の育成
- ④ 食育・安全な学校給食に向けた組織的な対応（健康教育、食物アレルギー等）
- ⑤ 食や健康に関する指導の充実と体力の向上への取組
- ⑥ ボランティア活動や地域行事への積極的な参加の促進
- ⑦ 学校からの情報発信と地域の教育力の活用

（７）学校運営

- ① 各分掌組織の活性化と効果的な運用（分掌、委員会等）
- ② 計画的、効果的な『働き方』の推進（ワーク・ライフ・バランスの充実）
- ③ 確実な学校事務の遂行、説明責任の自覚
- ④ 緊急対応や臨時の事案等に柔軟に対応する組織力
- ⑤ 教職員の『職場環境』の整備（互いを思い遣る心と前向きな言葉かけ）

（８）法令遵守及び服務規律の徹底

- ① 社会人としての自覚の明確化（言動や服装）
- ② 服務事故ゼロの意識の徹底
(守秘義務の厳守、個人情報管理の徹底、会計関係管理の徹底（複数での確認の徹底）、体罰・飲酒による事故及びハラスメントの根絶)